

■フィールドワーク(異文化理解)型 短期インターンシップ■

2016年度 神戸大学 海外インターンシッププログラム



ミャンマー(ヤンゴン&マンダレー) で異文化理解を深化させませんか

【派遣国・都市】 ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン&マンダレー

【研修及び訪問見学先】

ティンミャンマー・ランゲージセンター、MAJA Centre、JICA、Jetro、日系企業
(OB訪問：住友商事・双日・丸紅)、ヤンゴン経済大学、ティラワ経済特別区、ヤンゴン及びマンダレイ外国語大学、仏教文化遺跡など

【研修内容】 日本語日本事情教育補助実践、現場で学ぶ日緬との経済協力関係、
OB/OGとの意見交換会、仏教文化遺跡見学等

【募集人数】 4名

【渡航期間】 2017年2月12日(日)～2月下旬(2週間)

【滞在先】 参加者自身で準備

【費用】 18万円程度(概算：航空運賃、滞在費、市内移動交通費等すべて含む)
自費参加(5万円の補助あり)



ティンミャンマーランゲージセンターでの
日本文化紹介プレゼンテーションの様子

【申込期間】

2016年10月17日(月)-11月18日(金)

応募に関しては裏面参照

プログラム主催：神戸大学大学教育推進機構
「グローバル教育推進室」
神戸大学キャリアセンター
協力：ミャンマー神戸大学同窓会

【申込方法】 以下の4点をキャリアセンターに提出

1. 願書（日本語/様式有）
2. Profile Sheet（英語/様式有）
3. 同意書
4. エッセイ（1200～1500字程度）

※エッセイについては、下記を全て含んだものとする

- 1) ヤンゴン/マンダレイでのインターンシップに応募する理由
- 2) インターンシップを通して達成したいこと、身につけたいと思っている能力等
- 3) 今までどのような学生生活を送ってきたか
- 4) 学生生活で学んだもの

★派遣が決定した学生は、後日、健康診断書及びパスポート（写し）提出

【事前研修】 ミャンマーに関する予備知識、日本事情、日本社会・文化紹介PPTの作成

【研修報告】 帰国後、報告書を提出すること（様式有）
報告書を元に「研修報告会」を実施する

【選考】 海外インターンシップ専門委員会委員による書類審査及び面接

【その他】

- ・ 参加するものは、海外傷害保険に必ず入ること
- ・ インターンシップ等賠償責任保険（学研災付帯賠償責任保険）に必ず入ること
- ・ 研修期間中は、研修先の指示に従うこと
- ・ 本学では、海外渡航中の危機管理対策として「危機管理システム（OSSMA）」への加入が義務づけられている。従って派遣決定後は、担当係からの指示に従い危機管理オリエンテーションに参加すること
- ・ 滞在先から定期的にグローバル教育推進室、キャリアセンターに「実習日誌」をメールで送信すること

【問合せ先】

神戸大学 大学教育推進機構「グローバル教育推進室」
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1

電話：078-803-7483 Email: iphe-ghrd@edu.kobe-u.ac.jp

【申請先】

神戸大学 キャリアセンター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1

電話：078-803-5218 Email: stdnt-shushoku@office.kobe-u.ac.jp